

「とちぎ創生15戦略（第2期）（素案）」における  
 令和2（2020）年度の取組について

県では、栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15戦略」の着実な推進を図るため、PDCAサイクルによる、第1期戦略（2015～2019年度）の検証等を踏まえながら、第2期戦略（2020～2024年度）の策定に向けて検討を進めているところです。

令和2（2020）年度に重点的に取り組むべき課題について、第2期戦略（素案）において次のとおり取り組んでいきます。

○基本目標1 とちぎに魅力あるしごとをつくる

No.	戦略（案）	課題	令和2（2020）年度の取組
1	<p>【戦略1】 ものづくり県の更なる発展と次世代産業の創出</p> <hr/> <p>【戦略15】 未来技術を活用したとちぎづくり</p>	県内企業における生産性向上	<p>本県産業における未来技術導入・活用に向け機運醸成を図るとともに、産業データの活用や社会実装の促進、人材の育成、環境整備等の支援を行うことで、企業の生産性向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来技術社会実装・SDGs推進事業費 8,752千円</li> <li>・地域ITベンダー成長促進事業 3,543千円</li> <li>・大企業等オープンイノベーション促進支援事業費 852千円</li> <li>・とちぎの食デジタル活用促進事業費 121千円</li> <li>・未来技術活用基盤構築支援事業費 12,667千円</li> <li>・未来技術に対応できる人材育成事業費 1,271千円</li> </ul>
2	【戦略2】 成長産業へ進化する農業の確立	新規就農者の確保・育成	<p>農業技術の習得や経営資源の確保に対する助成を行い、新規就農者を計画的に確保・育成するほか、農業大学校に「いちご学科」を創設し「いちご王国・栃木」を牽引する人材の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地人材育成確保事業費 22,830千円</li> <li>・経営資源有効活用リフォーム支援事業費 23,500千円</li> <li>・農業大学校「いちご学科」創設事業費 ※令和3（2021）年4月創設予定 6,700千円</li> </ul>

No.	戦略(案)	課題	令和2(2020)年度の取組
3	【戦略2】 成長産業へ進化する農業の確立	農業の生産性向上	<p>AI等の未来技術を活用し、「栃木i37号」の生産性向上や戦略的な販売につなげることにより、収益性の向上や新規栽培者の参入を促進する。</p> <p>・AIいちご生産イノベーションモデル創出事業費 30,500千円</p>
	【戦略15】 未来技術を活用したとちぎづくり		
4	【戦略4】 戦略的な観光誘客	環境に配慮した二次交通の充実	<p>日光地区でのMaaS(Mobility as a Service)を活用した交通モデルの構築により、観光地における二次交通の利便性向上と環境負荷低減を図る。</p> <p>・観光型MaaS活用交通モデル構築事業費 102,873千円</p>
	【戦略15】 未来技術を活用したとちぎづくり		
5	【戦略4】 戦略的な観光誘客	滞在型観光の促進	<p>県内全域の地域資源を活用したサイクルツーリズムの推進を図るほか、参加型のサイクルイベント開催等により、観光振興や地域の活性化を図る。</p> <p>・サイクルツーリズム推進事業費 82,000千円 ・「自転車先進県とちぎ」サイクルイベント事業費 ※令和3(2021)年5月開催予定 5,000千円</p>
	【戦略12】 暮らしやすいとちぎの「まち」づくり		
6	【戦略5】 海外から選ばれとちぎの創生	インバウンドの誘客強化や県産品の輸出の拡大	<p>米国等を対象に、県産品と観光の一体的な現地プロモーション等の実施や、県内へのバイヤー招へい、海外メディアの招請を行うことにより、県産品の販路開拓や本県への誘客を促進する。</p> <p>・とちぎの酒海外展開促進事業費 10,447千円 ・海外販路開拓支援事業費(米国) 4,338千円 ・インバウンド重点強化事業費 10,440千円 ・県産農産物輸出拡大緊急対策事業費 24,397千円</p>

○基本目標2 とちぎへの新しいひとの流れをつくる

No.	戦 略 (案)	課 題	令和2(2020)年度の取組
7	【戦略6】 地域を支える 若者の育成と 定着促進	県内大学生等の 県内定着の促進	県内大学生等に、とちぎで暮らし働くことの魅力や県内企業に関する情報を効果的・効率的に届けるため、デジタルマーケティングを活用したPRを行い県内企業への就職を促進する。  ・とちぎの暮らし・仕事魅力発信事業費 7,000千円
8		県内高等学校における人材育成	県立高校における、市町や大学等との連携による地域課題の解決やブランド開発の取組を支援することにより、将来のとちぎを支える人材を育成する。  ・未来を創る高校生地域連携・協働推進事業費 10,400千円
9	【戦略8】 とちぎへのひとの流れの創出	「関係人口」の創出・拡大	移住に興味がある東京圏の若年層に向けたデジタル広告の発信等により、地域との継続的な関わりを持つ関係人口の創出等を図る。  ・デジタルマーケティング活用PR事業費 24,624千円 ・女性向けつながりづくり支援事業費 5,663千円 ・地域おこし協力隊就職相談会開催費 251千円 ・ウェブサイト拡充・管理運営費 5,229千円
10		農村における「関係人口」の創出・拡大	都市と農村の交流を促進するための地域組織づくりへの支援により、受入体制を強化し、四季を通じた交流を促進する。 また、都市住民に向けたデジタル広告等によるPRや、地域における協働活動への支援により、農村ファンが活躍するモデル地域の創出を図る。  ・農村ファン受入体制強化事業費 4,900千円 ・農村ファン活躍支援モデル事業費 12,000千円
11		戦略的な情報発信の強化	首都圏及び関西圏向けのデジタルプロモーションやSNSを活用した県民自らの情報発信の促進等により、栃木県ブランドの確立を図る。  ・デジタルプロモーション事業費 17,241千円 ・戦略的パブリシティ強化事業費 17,303千円 ・ブランド力向上促進事業費 6,454千円

○基本目標3 とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる、  
誰もが活躍できる地域社会をつくる

No.	戦略(案)	課題	令和2(2020)年度の取組
12	【戦略9】 結婚支援の充実	結婚支援の充実	とちぎ結婚支援センターにおける市町のサテライト設置支援や、デジタルマーケティングを活用した結婚意欲を喚起するための情報発信等により、結婚を望む若者の希望をかなえる環境づくりを一層推進する。  ・とちぎ結婚支援センター事業費 27,856千円 ・ベリーベリーマッチングとちぎ～結婚応援プロジェクト～事業費 20,747千円
13	【戦略10】 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	放課後児童クラブ待機児童数減少に向けた対策の推進	放課後児童クラブ待機児童数の減少に向けて施設整備を促進するとともに、放課後児童支援員の担い手の確保・定着を図るなど、受け皿整備を進める。  ・放課後児童クラブ整備助成費 148,824千円 ・放課後児童健全育成事業費 1,386,978千円
14	【戦略11】 多様な人材が活躍できる環境づくり	女性・高齢者等の新規就業者数の向上	現在職に就いていない女性・高齢者等の新規就業をきめ細かく支援するとともに、企業のテレワーク導入を支援し、柔軟な働き方が可能となる職場環境の整備を促進する。  ・とちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業費 18,143千円 ・とちぎテレワーク普及促進事業費 2,244千円
15		多文化共生の推進	外国人労働者の生活・就労環境の整備等による、外国人材の活用促進及び多文化共生社会の構築を推進する。  ・とちぎ多文化共生フォーラム開催事業費 2,683千円 ・外国人住民のための日本語教育体制整備事業費 3,300千円 ・帰国・外国人児童生徒に対するきめ細かな支援事業費 17,976千円 ・外国人介護人材活躍推進事業費 15,913千円

○基本目標4 とちぎに安心して住み続けたい地域をつくる

No.	戦略(案)	課題	令和2(2020)年度の取組
16	【戦略12】 暮らしやすい とちぎの「まち」づくり	生活交通ネットワークの形成促進	<p>公共交通の担い手不足・高齢化を見据えた無人運転移動サービスの導入に向け、県民の機運醸成を図るとともに、導入検討調査や実証実験を行う。</p> <p>また、利便性の向上による利用促進を図るため、市町バスの運行情報データを整備する市町へ専門家を派遣する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無人運転移動サービス導入検証事業費 44,358千円</li> <li>・バス運行情報見える化事業費 1,824千円</li> </ul>
	【戦略15】 未来技術を活用したとちぎづくり		

注：次年度に重点的に取り組むべき課題に関する部分を抜き出しているため、事業名や予算額が予算関係資料と一致しないことがあります。